

横浜市立 いぶき野小学校 令和 元 年度版 中期学校経営方針 (令和元～3年度)

学校教育目標	夢に向かって 希望を持ち ともにはばたく いぶき野の子 ～温かい言葉 思いやりの心 笑顔あふれる学校～			
	【知】自ら課題を見つけ、試行錯誤しながらねばり強くやりとげることができる子を育てます。 【徳】思いやりの心を持ち、温かい言葉やあいさつをかわすことができる子を育てます。 【体】自分で健康を守り、体力をつけることができる子を育てます。 【公】まちやひととの関わりを大切に、社会の一員としての姿勢や資質を身に付けた子を育てます。 【開】コミュニケーションを通して異なる文化や考え方を尊重し相互に理解し合おうとすることができる子を育てます。			
学校概要	創立 27 周年	学校長 井上 由美子	副校長 鈴木 智彦	2 学期制 一般学級：25 個別支援学級：4
児童生徒数： 865 人 主な関係校： 田奈中学校・長津田小学校・長津田第二小学校				

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	田奈中ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 「9年間で育てる子ども像」と具体的な取組
「まちから育つ長津田の子」 「言語能力」 「自分づくり」 「問題発見解決能力」	田奈中学校 いぶき野小学校 長津田小学校 長津田第二小学校	○自ら学び、活用・探求し、未来をひらく知を創造する子ども ○道徳的に自律し、よりよく生きていこうとする子ども ○他者の生命を尊重し、健康でたくましく生きていく子ども ○地域の人・社会・自然に学び、地域を愛し、貢献する子ども ・合同研修会や相互の情報交換等を通して児童生徒理解を図り、児童生徒指導上の課題解決に取り組んでいます。 ・合唱祭やふれあいのつどい等の行事を通して児童生徒の交流を深め、子どもたちが安心して、期待感をもって中学校に進学できるようにします。

中期取組目標	だれもが安心して、自分の夢に向かって成長していくことのできる学校創りを目指します。 ・主体的に学習に取り組み、互いに学び合いながら、問題を解決していく力を育てます。 ・人とのふれ合いや関わり合いを大切にした教育活動を展開し、互いに認め合い、思いやることのできる心を育てます。 ・心身の健康のために、進んで運動したり、毎日の食事を大切にしたりすることができる力を育てます。 ・地域の特色や地域教材を生かした教育課程を工夫し、まちの「ひと・もの・こと」とのつながりを意識した体験的な活動を通して、まちを大切にすることを育てます。 ・学校、家庭、地域、諸機関の連携を密にして、安心して安全な学校生活が送れるようにします。 ・異なる文化や考え方を尊重することができるようにします。
--------	--

重点取組分野	具体的取組
生きてはたらく知	・児童の「できた」「わかった」を大切にした授業づくりに努める。 ・めあてを示し、見通しをもって授業に取り組めるようにする。 ・お互いの思いや考えを伝え合う場面を設定し、学び合える授業づくりを行う。
豊かな心	・クラブ、委員会活動、登校班での異学年の人や地域の人と積極的にかかわりをもつようにする。 ・道徳の時間を大切に、心の変容を価値づける。(年に1回以上、授業を公開する。) ・人権週間の取り組みを工夫し、計画的に意識を高める。
健やかな体	・年2回のすこやか会議では、「健康について、自分たちが知りたい身近な疑問をとことん追及しよう！」をテーマに、健康への興味を深める。 ・体力アップ週間として、各学年に応じた運動(縄跳び、持久走等)に取り組み、楽しく体を動かしながら体力の向上を図っていく。 ・給食時間や食育タイム(月に1回)を使って、計画的に食についての指導をする。 ・食材を身近に感じさせるために、長津田育ちの野菜を積極的に給食に取り入れる。
特別支援教育	・保護者と教職員の連携を図り、共に子どもを育てていく思いを共有し環境や体制を整える。(複数の相談窓口や支援があることを周知する。) ・全職員で情報を共有する場をもち、児童へ適切な支援ができるようにする。 ・TT(チームティーチング)や取り出しによる学習支援をする。
キャリア教育(自分づくり)	・「生活科」「総合的な学習の時間」を中心に、地域と関わり、教材となるものの開発を行う。 ・まちの「ひと・もの・こと」と、積極的に関わり、問題解決的な学習が展開できるような学びを推進する。 ・和太鼓やお囃子などの演奏を体験する活動を通して、次代につながる伝統文化や、人の生き方、まちの一員としての意識を高める。
学校運営協議会(地域連携)	・委員の方に、行事や授業を参観する機会を作り、学校の特色やよさを知ってもらおう。 ・学校運営協議会の意見や助言を積極的に学校運営に取り入れる。 ・地域の人や自然、文化とかかわる学習や活動を取り入れていく。 ・地域、家庭との交流、連携を深め、地域の学校として「ひと・もの・こと」と積極的に関わっていく。
いじめへの対応	・誰もが、安心して豊かに生活できる学校であるために、担任以外にも児童支援専任等、相談できる人が複数いることを知らせ、問題の解決にあたる。 ・アンケートやYP、面談などを年間複数回行い、児童一人一人の心に丁寧に寄り添う。 ・児童支援専任を中心に、常に全教職員で児童を見守る体制を構築する。(各学年に副担任を置き複数の目で児童を見守る。) ・日常の学習や出前授業を計画的に行い、いじめは絶対にいけないという意識を育てる。 ・校内研修を通して、未然防止、早期発見ができるスキルアップをする。
人材育成・組織運営(働き方改革)	・メンターチームの活動はメンターリーダーを中心に自主的に運営する。全教職員で支援する体制を作る。 ・学校運営協議会の助言や学校評価等からのデータをもとに、教職員それぞれが広い視点で目標を定め学校運営に参画する。 ・キャリアステージに応じた目標と具体的な取組を設定(自己観察書)して公務員に取り組むことで教師力の向上を目指す。 ・行事や業務の精選、会議の効率化(内容の精選・ペーパーレス)、留守番電話の設定等を行い、教師本分の仕事に集中する時間を確保する。